

花 橘

ブレイクスルー①

発行日
令和2年8月26日
第4号
発行・編集
三崎高校総務課

進路課長 城 隆文

【登場人物】J私、M私の同級生、A先生世界史教員

あれは、高校二年生の秋 私は「世界史」の成績が伸びないことを悩んでいた。目の前では、A敬称略がいつものように楽しそうに授業をしている。「Aはいつも楽しそうだな。」そう思いながら、いつものようにつまらない授業を受けている。ふと横に視線をすらす。Mが静かにAの話の聞いている。Mは私の同級生四百人の中で最も優秀な男。静かな雰囲気と余裕があるように見える。ただ、少し変わっていて、いつもシェイクスピアのハムレット(英文版)を読んでいる。特に数学や物理の授業で教員が内容の説明に困ると、静かに黒板前に出て「それは、おそらくこういうことですよ。」と代わりに解説していた。当景周囲は近寄り難い。昼休み、いつものように一人で弁当を食べているMの横に座り、話しかけた。最初は日常会話、五分ほど話した後「そういえばAは授業中いつも楽しそうだな。中略、Aのせいで私の成績は低かったです。」食事をしていてMは箸を休めて急に真面目な顔になり、「それは正確ではないと思う。Jと同じ授業を受けている私は、普通にできているけど、遠くを見る。」不思議と腹が立たなかった。「確かにそうだな。どう学んだらいい?」Mは三つだけアドバイスをくれ、それを少なくとも一か月、できれば三か月継続するように言った。

それから二か月半程たっただろうか。Mともよく話すようになっていた。五限目の世界史の授業、集中していた私が一瞬間下に視線を外すと、視界にMが入ってきた。私の顔を指して変な顔をしている。「何?」ジェスチャーで示す。結局何か分からないまま休み時間、「J、今笑ってたよ。」「はあ?」「だから、お前、Aの授業で笑ってたよ。」全身に電流が流れる感覚。いつものまにか私は、世界史の内容を理解し、A先生がなぜ楽しそうにしているのかまで理解できるようになっていたようだ。もの見方や考え方に關して、時間軸場所を固定して歴史の流れを捉える」と空間軸時代を固定して世界との関係を捉える」ということまでA先生の手作りプリントから学ぶことができた。授業がつまらなく感じたのは、私の学習レベルが低かったからということだろう。当然成績も上がっていった。

【後日談その一、A先生と】

Mには止められたのだが、二年生の三月、終業式後、A先生に前述のエピソードを話しに行った。A先生はいつも通りの笑顔で最後まで聞いた後こう言った。「それはよかった。私は歴史の中に見る物語が好きでね。中略、私にとっては歴史が情熱を傾ける対象だけど、君にとってはそうとは限らないだろう。そもそも学問というのは、教えられるのを待って進めていくものでもないだろうし、興味がわくことを貪欲に自分で学んでいったらいいね。」私をもっと早く当時のA先生と年齢で並ぶ。

体育祭準備が始まる

9月5日(土)に、体育祭が実施されます。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、保護者や卒業生が参加する競技を取りやめるなど、当初の内容を見直して行きます。

8月19日(水)から本格的な体育祭準備が始まりました。パネルの作成や創作ダンスの練習など、熱心に取り組んでいます。体育祭当日の活躍が楽しみです。

なお、体育祭当日に、本校の創立70周年記念ポロシャツを販売いたします。価格は、一枚3000円で、売上金の一部は、記念行事の実施費用に充てられます。ぜひ、お買い求めください。



【後日談その二、Mと】

Mとは二年に一回ほど会う。男同士なので、お互い元気にしていれば、普段はそれ以上の興味はない。ただ、Mに会うと、謙虚になれるし、かつ、まだまだ私に変化の余地が多くあることを気付かされる。M曰く、「私の周りには話を聞いているように聞いていない人が多いが、Jは話を聞いていないように聞いていてくれる。Jと話すと思考が整理されていくんだ。対話の波長が合うのだろう。」らしい。以前会ったとき、私が「最近、やる気が指数関数的になくなっていくんだ、底てい、aは $\frac{1}{2}$ 。」と話したら、「y軸がやる気でx軸が時間のグラフだと、確かにやる気は限りなくゼロに近づいていくね。でも、永遠にゼロにはならないね。」私は思わず笑ってしまつて、やる気を話題にしていたことを忘れてしまった。

長い文章になりました。それでは、ごきげんよう。さようなら。

注釈①行き詰まりの状態を打開すること、科学技術などが飛躍的に進歩すること。